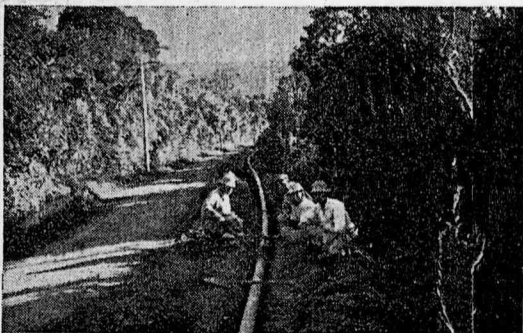


今月のよみ

- 7日 大雪
- 22日 冬至
- 23日 皇太子殿下誕生
- 25日 クリスマス
- 28日 御用おさめ
- 31日 大みそか

主な行事

- 14日 義士祭
- 31日 年越し
- 初旬 人権週間
- 中旬 町定例議会
- 〃 年末助け合い運動
- 〃 年賀郵便受付開始



皆さんのご協力で、深さ1メートル40センチの溝が掘られきれいな水道管がいけ込まれて行く。

簡易水道工事

着々と進行する
水道工事に出れば
負担金の足しになる

田代町中央地区簡易水道の工事を行っております。建設工事は、地元部落の方々の出役などの協力により、足で工事が進むようになっています。受給者の方々は水道負担金の足しにも、ぜひご協力をお願いします。

学校便り

田代小学校
体育振興のため
県より指定
十一月十一日研究公開行わる
PTA委員の奉仕で
きれいに出来たツキ山

本年度教育委員会は、学校の体育を振興するため、各町村に体育センターを指定して研究に当らせることにした。田代小学校もこれに指定された。特に体育の授業が身に付いて、児童の健康が非常に良くなることにより、指導者や保護者、外間体育指導員や田代町教育委員会の指導員も声を揃えて、賞讃して下さった。

二十年度の先生方が全員、一時間の授業を実施したのも、外に例のないことであつた。研究論文や研究資料も、立派なものだと講師の先生からおほめの言葉を戴いた。

このような立派な公開ができたのも、町当局の教育に義士の協力によって、何年か来着のまよになつてた校

学校の美化
PTA委員の奉仕

環境美化部の提案でPTA委員の一日奉仕が決定されたのは五月の委員会であつた。これに基づいて十一月七日、未だ大雨の後、土木の取り入れで多忙ななか、PTA委員五十三名が一日奉仕に集つて下さつた。

清水建設の御好意であつた。大きなトラックが動員され、三台のトラックに二台の四輪車で、びくつきするよう大きな石を七台分位運んだ。一方では、田代町教育委員会の指導員や、池野の方々の好意や猪鹿舎、池野の方々の好意であつた。

三つとや、見にくいけんか八つとや、やまをせぬよせぬように、みんなに日頃かへ、衛生予防仲良く手を取つて、に気を付けて、に最後まで、最後の五分が身を結ぶ、に

世渡り数え歌

去る十一月十五日、野原原の貞蔵さんが町公民館にひよつこり現れ、辺家の山で木を切り、楽しみの一つとして歌を作つたので見てくださると差し出された。歌つてゐる間に笑いがあつて幸せになつた。

田代町十大ニュース募集

【昭和三十六年度】

- 一、内容、昭和三十六年度中町内における最も大きな出来事であつたとおぼしめることを十項目上げる。
- 二、原稿締切、十二月十五日。
- 三、応募資格、制限なし。
- 四、用紙、何んでも良い。
- 五、原稿送先、田代町公民館。
- 六、審査方法、審査委員会が選定します。
- 七、発表田代時報、正月号及び年始めの挨拶から隣近所の人達にもお早ようございます位はする習慣を養いたい。

肉豚共販

月日	区分	共販頭数	生体重	枝肉量	歩留	枝肉代	枝肉精算	生体重平均	芝浦価格(上)	販売先
9	22	47	3,682	2,073	57	633,226	547,675	148	313	芝浦
10	3	50	4,218	2,372	56	676,642	584,662	138	297	
10	13	51	4,012	2,297	57	665,786	574,332	143	297	
10	23	62	4,908	2,762	56	806,128	694,572	139	297	

子豚セリ市 上段めす 下段めす

月日	区分	出頭数	頭数	価格	最高	最低	平均	売却平均	登記豚平均普通豚平均	総平均(含本人売却)	売却率
10	5	29(31)	23(25)	207,900	6,000	1,500	4,260	4,331	6,000	3,985	
10	15	21(28)	15(24)	128,800	5,000	1,200	3,913	3,302	3,950	3,100	
10	25	21(28)	20(29)	120,600	4,600	1,500	2,735	3,092	3,950	3,045	
11	4	18(34)	14(27)	112,100	8,000	3,000	4,507	4,151	4,833	3,808	

牛馬セリ市 上段めす 下段めす

月日	区分	出頭数	頭数	価格	最高	最低	平均	売却平均	登記牛馬平均普通馬平均	総平均(含本人売却)	売却率
10	24	11(17)	10(17)	560,100	43,500	18,500	30,640	36,242	32,328	32,328	
11	5	48(61)	38(56)	436,800	78,500	30,200	54,065	39,769	46,851	45,271	
		3	3		54,000	35,000	41,333				

水明

朝鮮満州台湾南洋其他の大陸方面に自由に移住して思う存分働ける時代は、国民の誰もが若くして青年は働き甲斐のある時代であつた。然るに終戦後海外発展が出来ぬ様になつて国内の他府県に出稼ぎに行くことになつた。

鹿児島県人として最も痛切に考へべきことは、少年時代に考へた「標準語」の訓練と「礼儀作法」の二つが先で第一である。他県人と一語に違つて、朝方目上の人とも同僚の者とも自由に話しかけ出来る、その他すべからぬことである。他県人と話しかけ出来るのが本県人ばかりの友達と交際する傾向になり、それで子供の時からせめて下校後部落内で遊ぶ時はお互いに標準語を使ふようにし、家庭でも出来るだけ訓練すべきである。

ハイと云ふ返事はハッキリと云ふべきで此のハイは目上にはもちろん、目下の者に使つても気持ちよいものである。ウムという語はなるべく使わぬ様にしたいのである。ラジオなどでも東京のお偉い方でもウムウムと返事しておる方があつた。聞いていて余り気持ちのよいものではない。

民主主義、人権尊重と云つてもやはり、上下の別、長幼の序、親子兄弟の順序はあつて、それが自然の道である。鳥や、獣、虫、魚には礼儀はない。他県に出る会社、工場に入れば上下の順序はある。それで課長や主任に対しては礼儀作法も正しくなければ鹿児島県の人や等しい低級な者は礼儀が知らぬ馬鹿な者がかりである。頭から馬鹿にされて相手にされぬ。一掃する程頭の下がる程で、少年時代からお互い間でも「お早よう」「左様なら」「等」の挨拶から隣近所の人達にもお早ようございます位はする習慣を養いたい。

田●局六十三番にす。